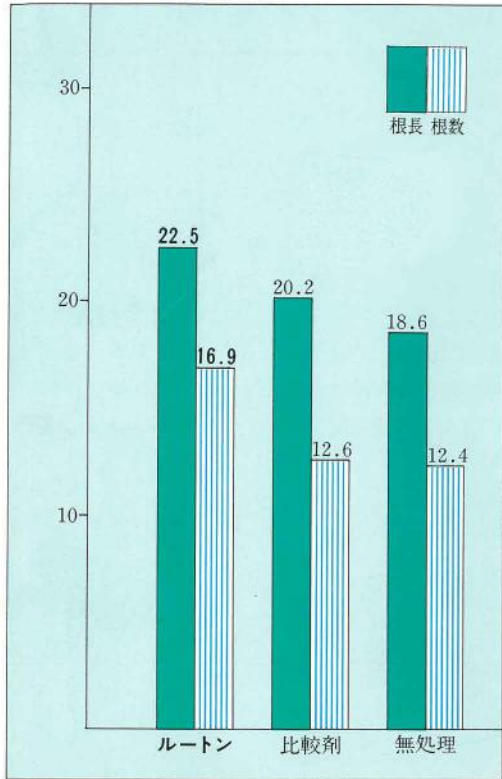


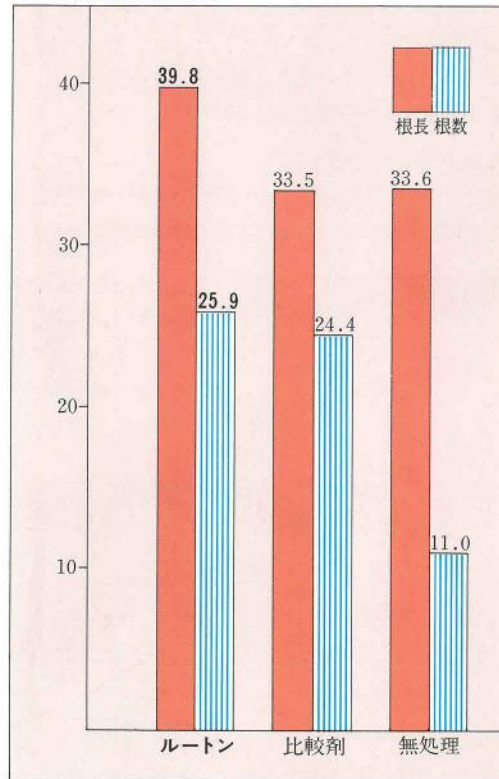
試 験 成 績

カーネーション挿穂発根試験



処理 56年 4月28日
 調査 56年 5月11日
 処理後13日目
 (福岡県園芸試験場)

キワ挿穂発根促進試験



処理 56年 7月10日
 調査 56年 7月23日
 処理後13日目
 (福岡県甘木市農協)

ISK 石原産業株式会社

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-7154 FAX(06)6444-7156
 中央研究所 〒525-0025 滋賀県草津市西波川2丁目3番1号 ☎(077)562-3574 FAX(077)561-2024

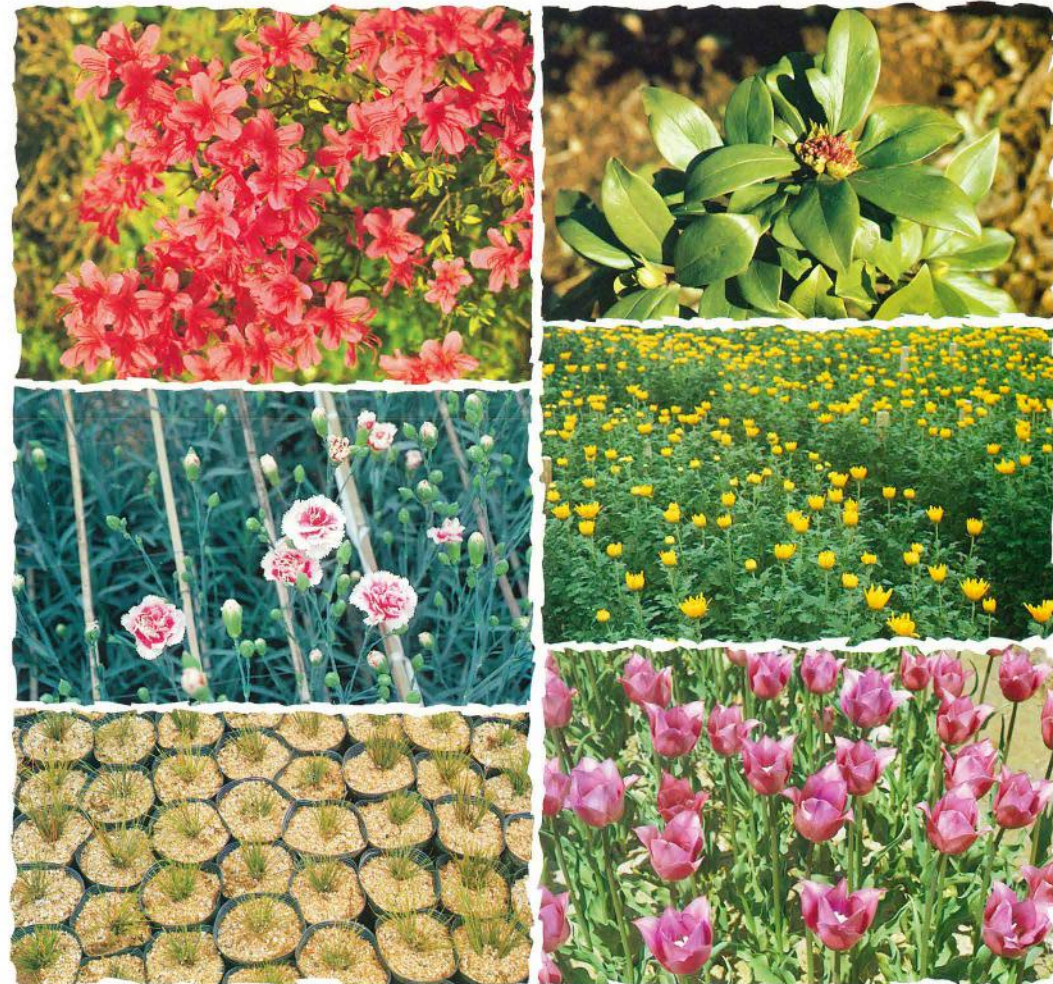
ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本 社 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号(飯田橋グラン・ブルーム) ☎(03)6256-9170 FAX(03)3263-2078
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリア) ☎(011)261-0211 FAX(011)271-3376
 仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル) ☎(022)227-6813 FAX(022)264-4585
 東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号(飯田橋グラン・ブルーム) ☎(03)6256-9190 FAX(03)3237-0571
 大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-1454 FAX(06)6441-0765
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル) ☎(092)751-0432 FAX(092)761-5924

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

— 林木・花木類の挿木・挿苗の発根促進に! —

ル ー ト ン



ISK 石原バイオサイエンス株式会社

特徴

ルートンは挿木、挿苗、種子、球根などの発根を促進させる植物ホルモン剤です。

ルートンで処理しますと、発根作用が著しく促進されて、活着がよくなり、その後の生育が非常によくなります。

有効成分

アルファーナフチルアセトアミド……0.4%

毒性

普通物 魚毒：A類

適用分野

林 木	すぎ、ひのき、まつ、もみ、メタセコイヤなど
庭園樹	さつき、まさき、じんちょうげ、あおきなど
特用樹	桑
花 卉	きく、カーネーション、ゼラニウムなど

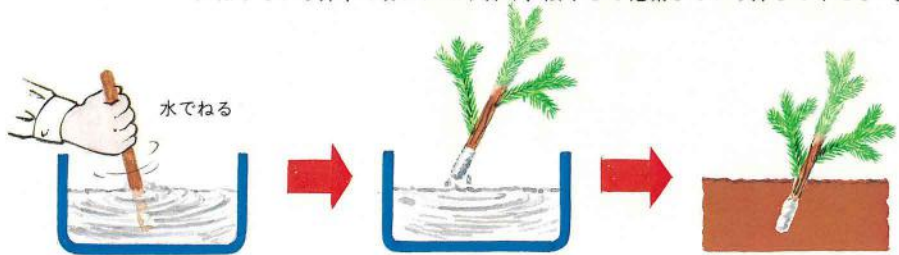
(注) 上記の他、挿木、挿苗を行なうものならどんなものにも使用できます。

上手な使い方

●まぶす場合 挿木、挿苗の基部を3cmぐらいの水にひたし、次にその部分にルートンが薄い層になって付着する程度に粉のまままぶし、それを挿してください。



●ペースト状の場合 挿木の場合、ルートンを適量の水でペースト状(ねり歯みがきと同じぐらいの固さ)にねってから挿木の切口にぬり付け、陰干して乾燥してから挿してください。



●処理本数

おもな林木に対する本剤の処理本数は、すぎ、ひのき、まつ、もみなどの場合で、本剤製品量20gで200~400本ぐらいの処理ができます。

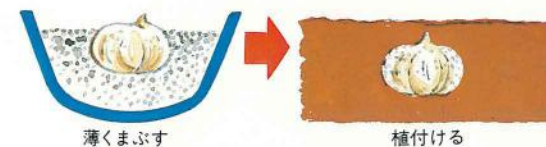
■球根類や種子の発芽を促進させる効果もあります。

挿木、挿苗以外に、球根類や花木の種子に対し発芽促進などの使用効果が認められています。

●球根類に対する使用方法

球根類に対する使用法は、球根に本剤をまぶして植付けます。

しょうぶ、あやめ、チューリップ、ヒヤシンス、グラジオラス、すいせん、ゆりなどで発根が早く、発芽および開花を促進させます。



●種子に対する使用方法

種子に使用する場合は、バケツや桶の中で本剤と種子をよく混合し、十分に本剤をまぶしてから播種します。普通本剤製品量20gで2kg以上の種子の処理ができます。

使用上の注意事項

- 本剤は食用作物には使用しないでください。
- 使用量は作物の種類、大きさ、状態などいろいろな条件によって異なりますが、あまり多すぎないようにしてください。
- すぎの挿し穂の場合、挿し穂の新芽が米粒大になるまでの間に挿し木することが望ましく、したがって、本剤の使用時期は3月~4月中旬頃が最適です。

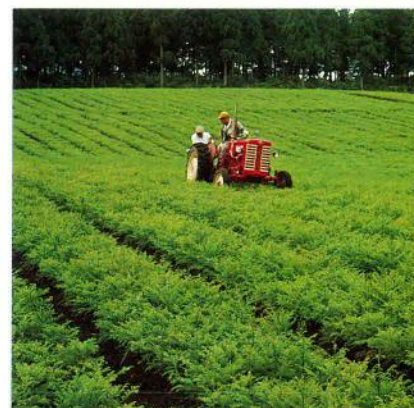
ルートンの効果



さつきに対する効果



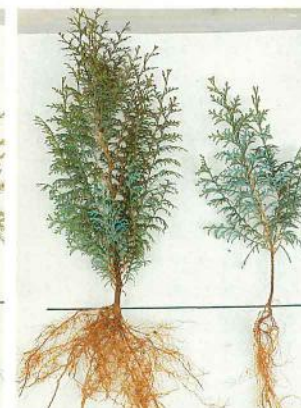
左処理 右無処理



林木に対する効果



すぎ 左処理 右無処理



ひのき 左処理 右無処理